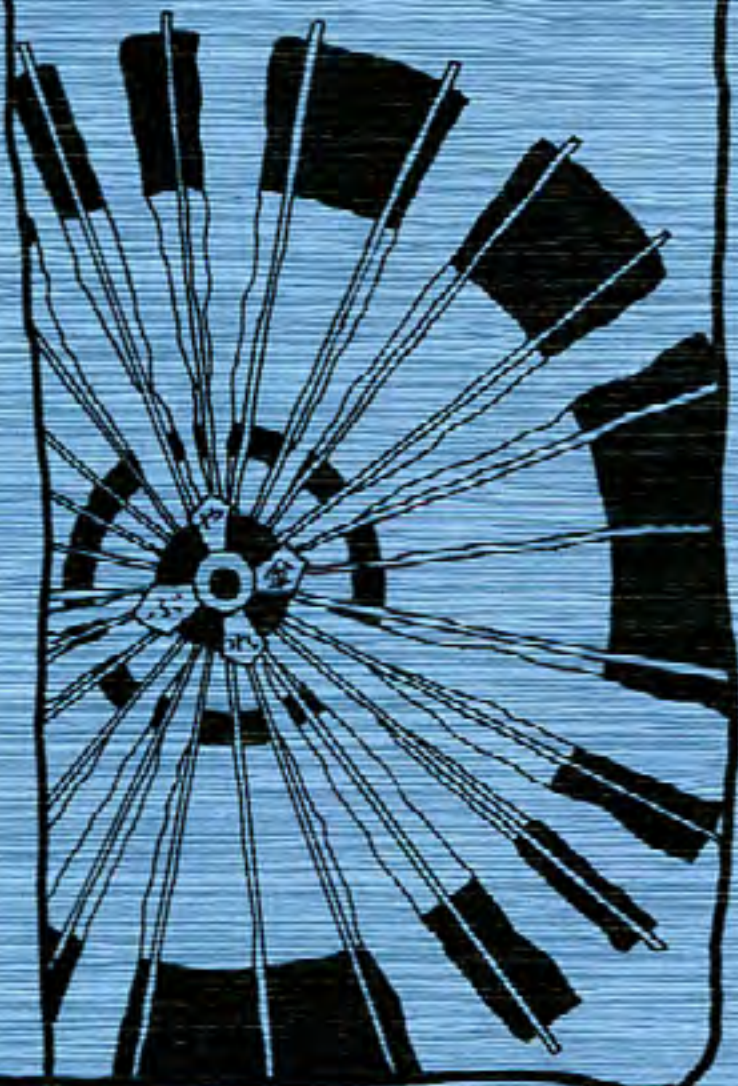


やぶれ傘



七十三号

二〇一三年八月

豆腐屋に虫袋の下がりけり	根橋宏次
梅雨晴れや伸びきつてゐる象の鼻	きくちきみえ
からからとすすかけの夏落葉かな	藤井美晴
夕虹の太く生まれてすぐ消えて	廣瀬雅男
まくなぎや山の祠に山の神	大島英昭
零戦の飛びだしさうな雲の峰	瀬島酒望
杜若見ての帰りの焼だんご	丑久保 勲
利根川を渡りきつたる夕立かな	白石正朝
雨来ると干傘しまふ花擬宝珠	安藤久美子
仏壇に匂ふ一輪百合の花	國保八江
梅雨明けの町にマツチを買ひに出で	渡邊孝彦
空梅雨の町工場からがちやこんと	小山陽子
恍惚の絶頂にある蚊をたたく	久世孝雄
山道に草かぶる石出水後	天野美登里
菖蒲湯の菖蒲の葉先乳房突く	有賀昌子

抄 集 句 傘 紀 夫 選 大 崎 紀 夫 選

青空に泳ぐ金魚を掬ひけり	松村光典
風鈴のこゑを戸毎に薫の里	秋山信行
田にありて四肢の動かぬ油照り	石原健二
女達の大きなバッグ梅雨明け	岩藤礼子
採れたての茄子づくしにて夕餉かな	枝みや子
ひろければ日傘にはかに軽くなり	大野芳久
人死にし家のガラス戸百日紅	菊地葉子
雑踏や昇り始めし夏の月	小池一司
一對の通夜の提灯梅雨深む	齋藤 博
すひかづら咲かせてみたる古火鉢	時田義勝
リズムつけ渡る吊り橋遠郭公	賀井照子
演能の舞台にしきり椎落葉	橋本美代
対局場の障子開ければ花菖蒲	広瀬 濟
日帰りの旅行のバスに大西日	村田 武
プランターの茄子の初挽き供へけり	山本千夏

逃げ水

大崎紀夫

海市より機甲師団とおぼしきが  
合歡の花湖の向かうに海昏れて  
逃げ水を破りハーレー・ダヴィドソン  
畑道をだらだら下り俵ぐみ  
雨足の川越えてくるからす麦

葭切や津輕の空は風に昏れ  
目のにほひ残して麦の刈られけり  
かき氷空ゆく雲のひとつ白し  
かみなりは土手の向うにとどろけり  
落ち口を落ちて形代消えにけり  
炎 昼 の 高 き 煙 突 高 き 堀  
かさかさと昼のとうもろこし畑

蛭袋

根橋宏次

かるの子の列ともならず固まり来  
開店の気球のあがる麦の秋  
豆腐屋に蛭袋の下がりけり  
白南風や地魚ばかり並ぶ店  
にはとりのとととと走る朝ぐもり  
ふくらんできては滴りぬたりけり  
バス停に槐の花のこぼれけり  
祭礼の提灯ともる端居かな  
山畑のポンポンダリア日の高く  
壁に張る大漁旗やかき氷

象の鼻

きくちきみえ

梅雨晴れや伸びきつてゐる象の鼻  
通り抜けできる病院四葩咲く  
打ち水や向かひの塀は石造り  
真夜中のかげを沈める金魚玉  
手の平にうちて扇子を閉ぢにけり  
こぼれたるもの光りけりかき氷  
夏帽の形を正して出てゆけり  
海を見しあとのトマトのマリネかな  
アイスクリーム舐めれば動く水平線  
藻の花の流れに添うて流されず

夏落葉

藤井美晴

夏木立奥に燈明ともりけり  
目玉より煙流るる蚊遣り豚  
磯蟹の土間を這ひゐる診療所  
平天安門事件二十四周年らかに六月四日過ぎゆけり  
賛美歌はへくそかづらの向かうから  
クールジャズ聞き焼酎の蕎麦湯割り  
合歡の花飛行機の灯の真直ぐに来  
石菖や石に岐れる溪の水  
カーテンを登り切りたる金亀子  
からからとすすずかけの夏落葉かな

夕 虹

廣瀬雅男

この道は佐久へと続く栗の花  
南天の花の高さに朝の風  
緑蔭や稲荷神社の狐穴  
虎尾草の風なきときもあるがごと  
音のして日照雨降りくる合歓の花  
黒雲の走りの早き夏の月  
夕虹の太く生まれてすぐ消えて  
山門を抜けて朝顔市に入る  
店先に造り滝置く蕎麦屋かな  
昼灯す山の湯宿や洗ひ鯉



絵団扇

大島英昭

参道は野中の小径  
麦の秋  
靴紐のほどけかけた  
草いきれ  
市役所の裏は図書館  
時鳥  
紫陽花の咲き代々の骨  
接ぎ医  
梅雨晴れの木橋に松の枝の影  
まくなぎや山の祠に山の神  
絵団扇に猫の目したる女の子  
居眠りの団扇揺らしてゐるつもり  
ひまはりにヘッドライトの届きけり  
虎尾草の墓所にも墓所のはづれにも

雲の峰

瀬島洒望

田植え機の運転席に野球帽  
緑蔭に伊太利亞国旗立てし店  
大枝を切りし痕あり楠若葉  
蹲を目掛けて枇杷の種を投げ  
あんばんを買つて通りへ夏燕  
太き木に猿の腰掛目白啼く  
零戦の飛びだしさうな雲の峰  
夕焼けの色産院の壁に褪せ  
ひと雨の通り過ぎたる夜店かな  
曲芸のある宵宮の舞台かな

焼だんご

丑久保勲

画材屋のヴェーナス裸像夏燕  
対岸にラジコン上がる銭葵  
揚梅や古本市はけふあした  
揚梅の落ちゐる道に寄りにけり  
杜若見ての帰りの焼だんご  
対岸に歌舞練場や夏柳  
萱草や二枚の板を渡す溝  
代替はりせし鰻屋のうなぎかな  
祓はるる子供神輿と町会長  
熊谷のあたりと思ふ積乱雲

## ◇ 9月・10月の句会案内

月	日	時	句会名	会場	連絡先
9月	3日(火)	AM9:00	こなから会	戸田市中央公民館	大崎紀夫・WEP
	3日(火)	PM6:00	うらら会	浦和コミセン	瀬島 孟
	4日(水)	PM7:00	ぎんなん会	浦和コミセン	丑久保 勲
	6日(金)	AM10:00	NHK大崎教室	さいたまアリーナ	NHK文化センター
	6日(金)	PM6:00	なごみ会	浦和コミセン	丑久保 勲
	21日(土)	PM2:00	セニョリータ句会	WEP俳句教室	藤井美晴
	22日(日)	PM2:00	やぶれ傘句会	WEP俳句教室	WEP編集室
	28日(土)	AM10:00	楽天会	中央公民館	廣瀬雅男
10月	1日(火)	AM9:00	こなから会	戸田市中央公民館	大崎紀夫・WEP
	1日(火)	PM6:00	うらら会	浦和コミセン	瀬島 孟
	4日(金)	AM10:00	NHK大崎教室	さいたまアリーナ	NHK文化センター
	4日(金)	PM6:00	なごみ会	市民会館浦和	丑久保 勲
	7日(月)	PM7:00	ぎんなん会	浦和コミセン	丑久保 勲
	19日(土)	PM2:00	セニョリータ句会	WEP俳句教室	藤井美晴
	20日(日)	AM10:00	吟行会(下記注)	皇居・二の丸庭園	丑久保 勲
	26日(土)	AM10:00	楽天会	中央公民館	廣瀬雅男
	27日(日)	PM2:00	やぶれ傘句会	WEP俳句教室	WEP編集室

(注) ぎんなん会は奇数月は第1水曜、偶数月は第1月曜です。

10月4日のなごみ会の句会場は「市民会館浦和」です。

10月20日(日)の吟行。集合は10時。集合場所は皇居・大手門。パレスホテル前。吟行地は二の丸庭園。句会場は森下文化センター・第3会議室。

半蔵門線で大手町駅から清澄白河駅下車。

◎ 連絡先 瀬島 孟 ☎ 048-862-2757 藤井美晴 ☎ 0422-55-2733  
 大島英昭 ☎ 048-592-5041 WEP編集室 ☎ 03-5368-1870  
 廣瀬雅男 ☎ 048-443-7522 浦和コミセン ☎ 048-887-6565  
 丑久保 勲 ☎ 048-853-3856 WEP俳句教室 WEP編集室へ